



平成 23 年 5 月 13 日

各 位

会社名 小倉クラッチ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小倉 康宏
 (JASDAQ・コード 6408)
 問合せ先 取締役常務執行役員 河内 正美
 電 話 0277-54-7101

平成 23 年 3 月期における業績予想値と決算値との差異および 配当予想の修正に関するお知らせ

平成 23 年 2 月 14 日に公表いたしました平成 23 年 3 月期の業績予想値と本日発表の決算値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、平成 22 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 23 年 3 月期の配当予想につきまして、下記の通り修正しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

●平成 23 年 3 月期 業績予想数値と決算における実績値との差異について

平成 23 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	38,100	1,000	600	530	35.34
今回発表予想 (B)	38,797	947	637	799	53.29
増減額 (B - A)	697	△ 52	37	269	
増減率 (%)	1.8	△ 5.2	6.3	50.8	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	31,043	△ 1,227	△ 995	△ 1,291	△ 86.13

平成 23 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	29,240	430	225	315	21.01
今回発表予想 (B)	29,594	560	415	658	43.90
増減額 (B - A)	354	130	190	343	
増減率 (%)	1.2	30.3	84.7	109.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	24,054	△ 543	△ 660	△ 1,144	△ 76.29

差異及び修正の理由

1. 連結業績

平成 23 年 3 月期の連結決算業績につきましては、当社製品の主要需要先である自動車業界において、国内では景気刺激策終了後の減産はあったものの緩やかな回復基調に支えられ、海外では中国を始めとするアジアの新興国市場が好調を維持・拡大した事に加え、米国市場の回復による需要効果に支えられた事により、売上高は当初予想の 38,100 百万円を上回り 38,797 百万円となりました。

営業利益、経常利益および当期純利益については円高基調による為替差損の発生はありましたが、売上高の増加と費用削減策の効果等もあり、当初予想を上回りました。

2. 個別業績

平成 23 年 3 月期の個別業績につきましても、売上高の増加に加え、一層の経費削減や生産性向上等により営業利益が増加しました。また外貨建債権に対する為替予約の実施により為替変動リスクの軽減を行ない、経常利益及び当期純利益も当初予想を大幅に上回ることができました。

●配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年5月14日発表)	—	0.00	—	0.00	0.00
今回修正予想	—	—	—	10.00	10.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成23年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

修正の理由

当社は、各期の業績に対応しつつ、将来の利益確保のため内部留保を充実させ、設備投資その他の経営活動資金として有効活用を図り、企業体質を強化して将来的な収益の向上を通して株主の皆様の中・長期的な安定配当の維持に努めることとしておりましたが、誠に遺憾ながら平成21年3月期以降、無配を継続してまいりました。この間、復配を果たすことを最優先課題と位置付け、財務体質の強化と収益性の向上に取り組んでまいりました。

その結果、今後の事業展開のための内部留保等を勘案し、株主の皆様のご支援にお応えするため、1株当たり10円の配当をすることとし、平成23年6月29日開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

以上